工場協會だより

（原稿到着順）

福井縣工場協會

（一）映畫會　工場災害防止及衛生に關する映畫會を左の通り開催した。

五月一日　足羽郡酒生村（於小學校）　觀覽者　八〇〇名

五月三日　坂井郡北潟村（於小學校）〃　七〇〇名

（二）寄宿舍々監工場視察

五月十一日　縣下に於て寄宿舍を有する大工場の舍監十九名を岡崎監督官補引率し京都府綾部町の郡是製絲株式會社を視察した。

（三）藥養講習會　佳田あや女史（本會嘱託）指導の下に左記の通り講習會を開催した。

五月十五日　大野町　出席者　一〇五名

五月十六日　春江町　三五名

五月十七日　福井市　五二名

五月十八日　勝山町　五三名

五月十九日　鯖江町　三五名

（四）安全週間　七月一日より擧行、本年は特殊の記念スタンプを作製し工場課健康保險課關係書類の餘白に押捺し一般の希望者にも押捺することゝした。

愛知縣工場會

第三十回工場修養會

五月二十三日より二十六日迄四日間協調會産業福利部と共同主催の下に牛骨坊新福寺に開催講習會として、貴族院議員日比譜鋪氏　文部省堀託松元稻穗氏　協調會常務理事浦生俊文氏　縣工場課長荒川又市氏の有益なる講演があつた。

鳥取縣工場協會

鳥取縣工場協會と本會との共同主催の下に左記の如く三ヶ所に於て女工指導者の講習會を開催した。講習員は附近工場より選拔せられたる者に何れも熱心で聰講、講演後の座談會に於ては眞摯なる質疑應答が行はれ、發揮以上の効果を收め得た。

◎工場教養擔任者講習會（六月七八日）

開催地並會場　鳥取市縣立圖書館講堂

講習員　五十名

講演「女工の心理とその指導」

協調會參事　大内　經雄氏

「女工教育について」

協調會嘱託　高岡　實氏

「農村生活と女工問題」

協調會大阪支所長　松村勝治郎氏

「私立青年學校の設立と經營」

鳥取縣社會教育主事補　宍戸　英人氏

座談會

滋賀縣工場協會

◎全縣全監講習會（六月十一十二日）

開催地並會場　大津市縣教育會館

講習員　滋賀縣長賀川武德殿

講演　各三十名

「女工教育について」

協調會嘱託　高岡　實氏

「女工の心理と女工の指導」

協調會參事　大内　經雄氏

座談會

勞務管理研究會（東京）

◎第一回貨銀對策分科會

最に改組して益々内容を充實した勞務管理研究會は、今般毎月の例會と併行して貨銀對策分科會を設置することゝなり去る六月五日午後五時半より本會々議室に於てその第一回會合を開催した。出席者約三十名、熱心なる討議懇談の後、九時過ぎ閉會した。當日は研究材料として本會勞務係より貨銀對策研究項目を提示し、之に從ひ實情の開陳意見の交換が行はれ、第一回としては極めて盛談実り多足であつた。

◎當任幹事會

去る六月十五日午前十一時半より銀座オリムピックに於て當任幹事會を開催した。出席者七名、午餐を共にしながら、研究會の今後の進行に關し種々打合せをなし懇談を遂げた。散會午後一時。

「協調」刊行の趣旨

社會問題及産業福利に關する資料を平易に紹介し、一般國民に社會問題への正しい理解を求め、且つ公正な輿論の聲を聞き、進んで國民各層へ協調精神を普及徹底せしむることが本誌の目的である。「社會政策時報」及「産業福利」が學究的、專門的であるに反し、「協調」は常識的、大衆的啓蒙運動の役割を擔當するものである。

名古屋市工場榮養食改善講習會

協調會、愛知縣健康保險課、名古屋市榮養保健協會主催の下に去る五月二十八日より同三十日迄三日間名古屋市衛生試驗所に於て工場榮養食改善講習會を開催し、縣下各工場炊事責任者五十名樂々に受講、受習をなして、當地方工場榮養食普及に關し益する所尠からざるものがあつた。講師は左の諸氏である。

社會局技師醫博　大西　清治
衛生試驗所長技師　三堀　三郎
同市榮養指導部長技師　墨田　理
協調會常務理事　町田辰次郎

名古屋市園民榮養食改善講演會

昭和十二年五月二十八日午後六時より名古屋市市會議事堂に於て左の如く榮養食改善講演會を開催し、聰講者約二百名盛會裡に九時半散會。講師は左の諸氏である。

名古屋市市保健部長　金原正治郎
社會局技師醫學博士　大西　清治
名古屋醫大教授醫學博士　鯉沼　茂吾

※　※　※

最初から枠と事務的用件をすつかり芝公園へ置いて來た此の一行は、同じ水上行の車中の他のどの組よりも朗かであつた。青年諸嬢の嬉々たる樣は大空に舞ふ雲雀にも似た快活さであり、部長や老參事の相恰を崩して愛兒の戯態を見守る如き風態はまさに協調精神を描き出した一幅の畫である。

既に高崎も過ぎ愈々上州路へかゝる頃より一段と空氣も澄み、綠は凉え、水は水晶の簾を敷き連ねた溜河さで右に左に戯咲の聲頻りに起り、我が撮影班の活動は敏捷となる。

一行の中、江戸で生れて江戸で育ち江戸より外に御存知ない三三の人の奇問百出は、時にとつての愛興で、水上は鹿の澤一の神狹樓の大風呂に汗を流した後起も腹の皮が延びきらぬ始末である。

當夜は色々の意味で安眠がなりかねた人の白狀談が翌る日朝食の席を賑はし、待望の夜後の橋邊の風景には俗謡が瀧落して入側の縁に到る想を懷き、湯槍付で又一風呂浴びてからは終に心身脫落したのか皆神樣みたいになつて了つた。

そして理窟も消落もなくなつた淡々たる一行は、此の地に眠る安倍貞任の墓前を過ぎるに及んで湯ろに世の有爲轉變を想ひ出して漸やく人情を取り戻し、清水トンネルを拔けて越後湯の澤に降りた時は、時期に逢つて愈々月形半平太を演ずる程に人間じみて來た。斯くて上野へ歸つて遂に最後の解散ともなれば、ようし明日から一層馬力を出さうぞと持前の本性に何時の間にか立ち直つて來た。

編輯便り

○七月號は特別講會を組して、書きたいことが山のようにある。新省の問題熟練工の問題、南店法の問題等々と小さい新聞に盛澤山。

○勞働組合は何をしてゐるのだ、勇氣を出して起き上れと云ふ聲を聞くので今月は各方面の意見を紹介。

○これからもこんな試みを度々やりますから、往復葉書を受けとつた方は、國家の爲に喜んで筆を執つて下さい。

協調

編輯人兼發行人　東京市芝區愛宕町六丁目一番地　町田辰次郎
東京市芝區西久保巴町三丁目三番地
印刷所　東京市芝區愛宕町六丁目一番地　川口印刷所
發行所　東京市芝區愛宕町六丁目一番地　協調會
電話　人國（三）一一一一　振替口座東京六一七〇四
毎月一回十五日發行
定價一部金五錢

しばこうえん室望展

日本と支那の協調

去る七月十五日北支事變の眞只中に於て長崎高商留學中の中華民國學生十二名は協調會參觀の爲來會し、協調會職員と勞働問題並びに北支問題に關聯して約一時間懇談した。

その際一學生質問して曰く『利益の相反する勞資が如何にして協調できるや、又日本と支那とは如何にして協調できるや、更に正義とは何であるか、何人が正義を決定するや』

之に對し町田常務理事が次の如く答へると、一同眼を輝かしながら、握手を求め滿足の意を表して引下つた。

＊　＊　＊

勞働者と資本家が本質的に利益が反するのであれば、どんな手段を以てしても、之を協調することはできない。併し勞資の利害は根本に於て反するものではない。例へば故に資本家と勞働者が居て一つの事業を經營する場合を考へると、勞資の利害が共通してゐればこそ事業が成立つのである。事業を大きくすることは勞資双方の利益であり、事業を小さくすることは双方の損失である。

斯くの如く勞資の利害は根本に於て相反するのではなくて、全く一致してゐるのである。たゞ事業の擴大に從つて利潤を如何に分配するかといふ第二次的な問題に對しては、勞資相互の信頼の下に於ては、十二分に協調の餘地が存するのである。最初から階級鬪爭をスローガンにしたのでは、この問題を圓滿に解決することはできない。産業協力、勞資協調の下に於てのみ平和な解決が可能なのである。

日本と支那の場合も同樣である。日本が單に日本國民の利益のみを固執し、支那が又同樣に支那國民の利益のみを擁護すると云ふのであれば、永遠に協調の餘地はない。けれ共日本と支那がその上にある世界人類の發展と云ふ點に考へ及ぶならば、日支の紛爭は解決されるわけである。

又正義は何であるか、何人が正義を決定するかと云ふ質問であるが、私は正義は何であると云ふことは言ひ得ない。それは正義は自分より大きいものであるからである。正義とは自分より大きいもの、正義は日本よりも、支那よりも大きいものと解釋することはできる。この自分より大きいものを求めようとする人々に依つて正義を決定されるのである。日本が正義を求め、支那が正義を求めるのであれば必ず協調はできる。こうした理想、信念の下に於てお互の國に正義人が多くし病院へ擔ぎ込んだと言ふ挿話がある。彼等は敵である。然し『ムッター！』の一語は彼等を感謝の彼方に運んだ。誠に母の愛は絶對である。

只是れ一念子

協調會常務理事　蒲生俊文

鳴く蟬の聲に暑さは逝はれけり

歐洲大戰の當時獨逸兵を包圍した米國兵の一人が狙を定めて打つた銃丸は見事一獨逸兵の腕を貫いてバタリと倒れた。その時獨逸兵の口を突いて出た聲は『ムッター！』の一語であつた。之を聞いた其米國兵は故郷に寂しく待つ自分の母親のことを憶ひ起して俄に其獨逸兵の母親のことに思ひ至り、走せ寄つて彼を肩にし病院へ擔ぎ込んだと言ふ挿話がある。彼等は敵である。然し『ムッター！』の一語は彼等を感謝の彼方によつて利益を得やうとするのでも無く、母が義理から私に對する義務として盡力したのでも無い。止むに止まれぬ大愛の心から私を抱きしめて居られたことだと思ふ。只是れ一念子。母の眞情が逆つて私を共惱い懷の中に融け込まして居られたのである。

私が母を失つたのは幾十年の昔のことであるが、今日家を爲し妻を迎へても猶亡き母を忘れたことが無い。今にしていまさばあゝもして上げたいと、暑さは逝はれけり

亡き母に仕へまつらむ心もて

この子育てんと捧ひしこの朝

と詠じたことであつた。私の樣な不肖兒がこれ程母を慕ふのは何の爲めであるか。私が特別に親孝行なわけでは無い。母の無我の愛が私をスッカリ包んでしまつて私と母とが一體になつて居るからだと思ふ。私が母によつて利益を得やうとするのでも

工場内の人事關係でも共處に眞情の發露が無くては圓滿を期することは出來ない。エンヂコット・ジョンソン製靴會社の重役が言つた言葉に『彼等の問題は常に我が問題であつたから我が問題は常に彼等の問題であつた』とあるのは如實に彼の會社の融合一體としての有機的生命活動の一端を示して居る。米國にテクノクラシーが浪漫した後にハーバート大學のウオルター・キャノン博士によつて唱導されたバイオクラシー學徒は人體の生理的機能を社會生活と比較して之を論斷しようとした。細胞と細胞とを結合するものを同氏は流動體母素と名付けた。工場に於けるフリード・マトリックスは何であるか。シェルドンは之を兩者時者より流出するところの精神的要素であると稱してゐる。是れ余が所謂眞情の發露である。之れ無くしては百の福利施設も何等の效果も無いと斷言し去つても誤とはすまい。

シェルドンは之を稱して福利精神と名付けた。精神は施設に先行する。兩者徒らに面前寸尺の輪鬼に汲頭し、獲得に專念し、從業者は工場に在る終るに至つては相共に率るで淵に投するものである。フオード曰く、貪

（裏面へ續く）